

(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画
(素案)

2025年●月

町田市

— はじめに —

文化芸術は、人の営みの軌跡であり、

ありのままの自分を表現するための術でもあります。

わたしたちの暮らしに潤いや彩りを添え、

あるいは、心を豊かにし、喜びや幸せを感じるだけでなく、

人と人とがつながることや、多様性を認め合うことに加えて、

支え合いの土壌を育むといった、様々な役割を果たしています。

また、無限に広がるイマジネーションを喚起する創造の糧ともなり、

生きる力や未来への希望を生む、人間活動そのものともいえます。

* * * * *

このまちでなら

住む人も訪れる人も、文化芸術を自然と感じ、触れられる、

文化芸術から生まれた人と人とのつながりの温もりや賑わいを体感できる。

ある人は、これまで抱き続けていた“やってみたい”を叶え、成長していける、

また、ある人は、ちょっといい街、ちょっといい暮らしを実感し、

まちへの愛着を抱いて、住み続けたい、あるいは、何度でも訪れたいと思える。

町田市は、文化芸術の薫るまちづくりを進め、

市内各地で色彩豊かな“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちを目指します。

目次

1 計画策定の背景と目的	6
(1) 策定の背景（社会状況の変化）	6
(2) 策定の目的	7
(3) 計画の策定にあたって	7
2 計画の基本的な考え方	8
(1) 計画の位置づけ	8
(2) 構成と計画期間	8
(3) 文化芸術の範囲	9
(4) 対象	9
(5) 区域	9
(6) 市の役割	10
(7) 文化芸術に関わる各関係主体と期待すること	10
3 目指す姿	11
4 町田市の特徴と取り組み	14
(1) 町田市の特徴	14
(2) 近年の文化芸術の取り組み	16
5 文化芸術のまちづくりに向けたポイント	17
ポイント① 誰もが文化芸術を楽しめる環境をつくる	18
ポイント② 町田市文化芸術のイメージを強化していく	19
ポイント③ 文化芸術の鑑賞・活動の場をつくる	20
ポイント④ 美術品や文化財を保存し、未来に継承していく	21
ポイント⑤ 文化芸術を支える多様な団体・市民を育成していく	22
6 方針と施策	23
7 計画体系	24
8 文化芸術プロジェクト	25
～まちだ Smile-ring project（スマイリングプロジェクト）～	25
Project A 文化芸術で“みんなの夢”を叶える	26
Project B 文化芸術大型イベントの実現	26
Project C 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化	27
9 施策と取り組み	27
(1) 施策推進のための新規・拡充の取り組み	28
(2) 施策の評価	29
(3) 施策・取り組み（事業）一覧	30
方針1 きっかけをつくる	31
施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保	32
施策2 情報環境の拡充	34
方針2 場をつくる	35
施策1 施設の整備・活用	36

施策 2 活動の場の充実.....	38
方針 3 未来につなぐ.....	39
施策 1 文化財の保存・活用	40
施策 2 次世代への継承.....	41
基本方針 4 共に創る.....	42
施策 1 市民や団体等のチャレンジの創出	43
施策 2 企業等との共創による推進.....	44
10 計画の推進にあたって	45
(1) 町田市文化芸術のまちづくり推進委員会.....	45
(2) 庁内の推進体制.....	45

1 計画策定の背景と目的

(1) 策定の背景（社会状況の変化）

■文化芸術と様々な分野との連携が求められています

国は、2017年に文化芸術基本振興法を改正し、「文化芸術基本法」を施行しました。同法においては、文化芸術によって生み出される様々な価値を文化芸術の継承や発展、創造に活かせるよう、観光や福祉、教育その他の各関連分野との連携を配慮することを求めています。また、こうした動きに伴って、文化芸術と他の関連分野との連携を進める法整備^{※1}も進んでいます。

- ※1 2018年：「障害者による文化芸術活動の推進に関する法律」施行・・・障害者の文化芸術活動を幅広く促進するための法律「文化財保護法」改正・・・地方自治体が主体的に文化財を保護し、観光に活用できるよう改正
2020年：「文化観光拠点施設を中核とした地域における文化観光の推進に関する法律」施行
・・・文化資源の理解を深める機会を増やし、国内外からの観光客を誘致することで、文化振興、観光振興、地域の活性化という好循環を創出するための法律
2022年：「博物館法」改正・・・博物館が地域の観光拠点となることを努力義務化。新たな業務としてデジタルアーカイブの構築を加える改正

■デジタル技術が浸透し、文化芸術がより身近になっています

デジタル技術の進展によって、美術館や博物館のバーチャルツアーやデジタル展示、オンラインコンサートや演劇など、オンライン鑑賞が普及し、地域や時間に制約なく誰もが手軽に楽しむことができるようになり、文化芸術に触れられる機会がより一層身近になっています。

一方、アーティストや文化芸術団体等がSNSで作品を広く発信し、ファンやコミュニティを形成することや、文化遺産や歴史的資料、芸術作品をデジタルアーカイブ化して、オンラインでのアクセスを可能にするなど、活動や創作物等をより広く発信できるようになっています。また、インバウンドが年々増加しており、日本の文化芸術を世界に発信するチャンスも訪れています。

■体験や特定の時間を重視するような社会に移り変わっています

個人の価値観やライフスタイルの変化によって、従来の物を所有する「モノ消費」から、体験やサービスを通じて得られる満足感や感動を求める「コト消費」へとシフトするとともに、旅行やイベントなど、特定の瞬間や限られた時間を特別なものにするような「トキ消費」も重視する社会に移り変わっています。

■新たな社会的つながりが生まれています

デジタル化社会の進展によって、これまでの地域や地理的なつながりを基盤にしてきた地縁型コミュニティに加えて、共通の興味や趣味、価値観を共有する人々がオンラインやオフラインで集まり、多様な関心に基づいて交流する「テーマ型コミュニティ」といった新しい社会的つながりが生まれています。

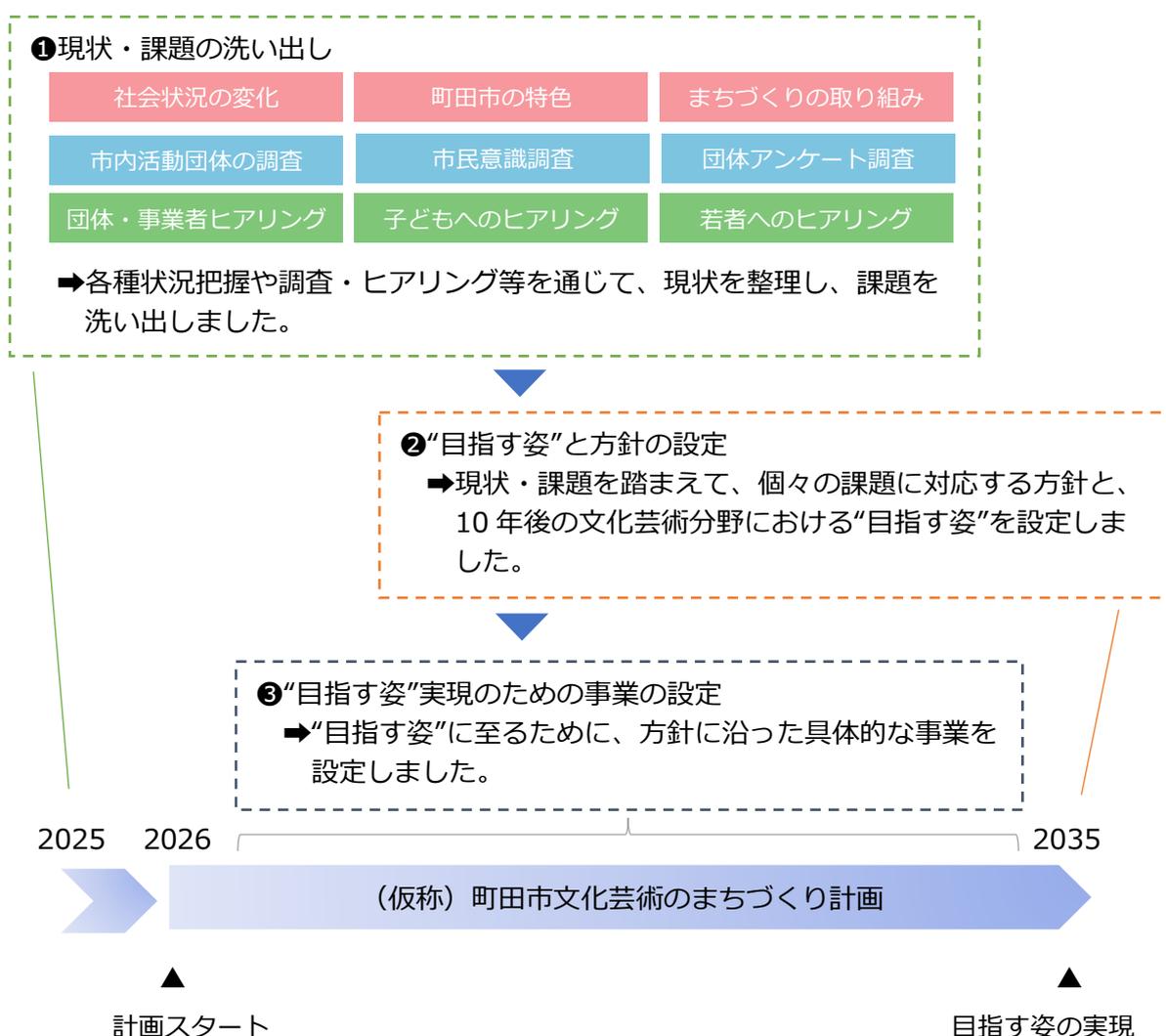
■企業の社会貢献活動が活発化しています

SDGs（持続可能な開発目標）やCSR（企業の社会的責任）の意識が高まる中、企業が文化や芸術を支援することで社会貢献を果たす「メセナ活動」が更なる広がりを見せています。こうした活動は、継続的に文化芸術活動を支援することに加え、企業と地域コミュニティとの連携・協力を通じて、持続可能な社会の実現に寄与し、社会と企業の双方にとって有益なものになっています。

(2) 策定の目的

町田市基本構想・基本計画「まちだ未来づくりビジョン2040」に掲げる“なりたいまちの姿”に至るための政策（政策7 ありのまま自分を表現できるまちになる）の実現に向けて、施策（施策7-2 文化芸術に親しめる環境・機会を充実させる）を推進するため、文化芸術に関わる多様な主体との連携を密にするとともに、観光や福祉、教育その他の各関連分野との連携を強化し、計画的にまちづくりを進めることをもって、市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていくことを目的として策定します。

(3) 計画の策定にあたって

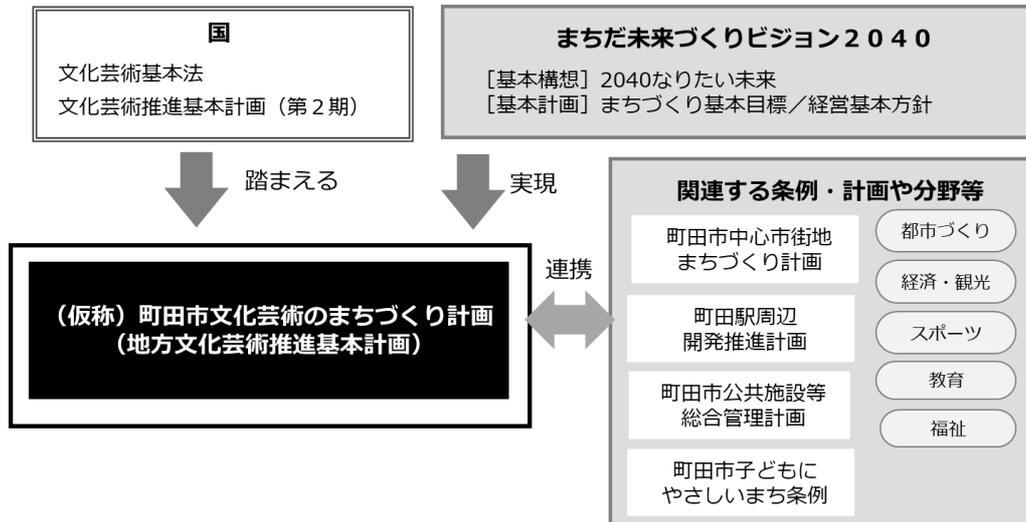


2 計画の基本的な考え方

(1) 計画の位置づけ

文化芸術基本法を踏まえるとともに、「まちだ未来づくりビジョン2040」を実現するため、関連する条例や個別の計画等との連携を図りながら事業を推進します。

なお、本計画は、文化芸術基本法第7条の2に基づく地方文化芸術推進基本計画として策定します。

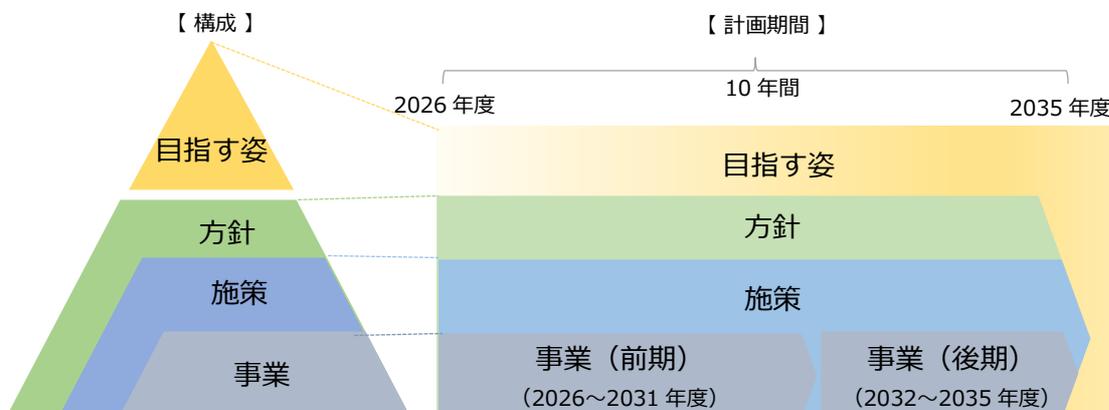


(2) 構成と計画期間

本計画は、「目指す姿」、「方針」、「施策」、「事業」で構成し、目指す姿の実現に向けて、方針に沿って施策や事業を展開します。

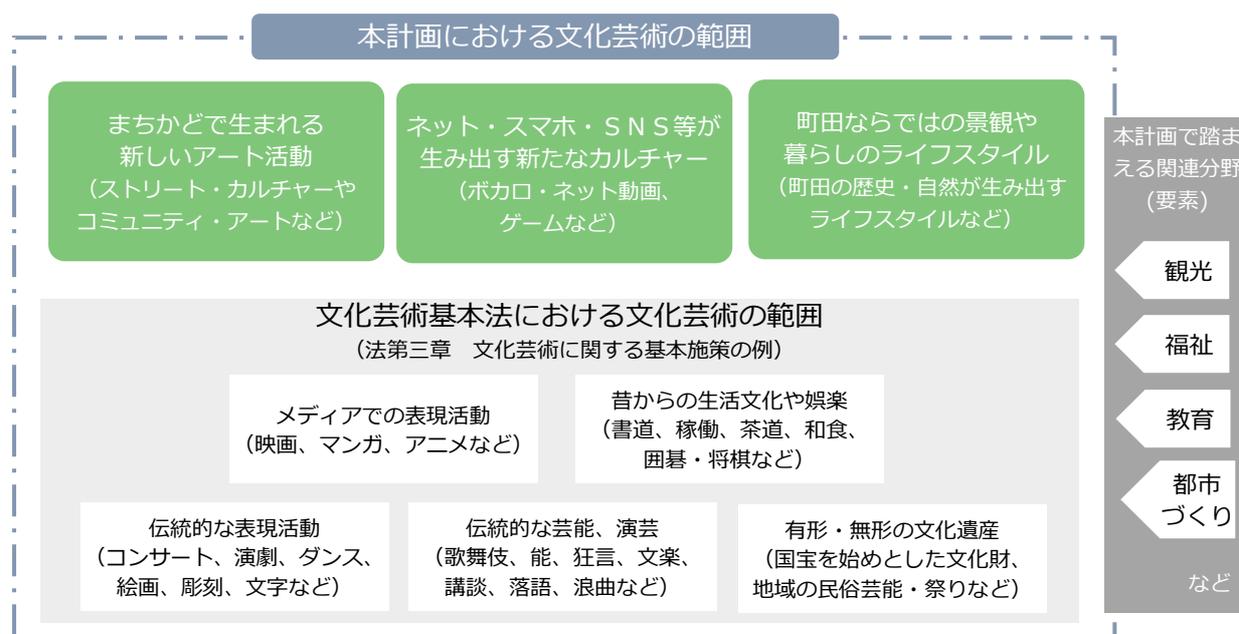
また、計画期間は、2026年度から2035年度までの10年間とします。なお、施策に基づく「事業」については、前期（2026～2031年度）と後期（2032～2035年度）に分け、前期終了時に見直します。

(仮称) 町田市文化芸術のまちづくり計画



(3) 文化芸術の範囲

本計画は、文化芸術によって“まちの賑わいを更に生み出すための「まちづくり計画」”として、文化芸術基本法に規定されている文化芸術の範囲に、町田ならではのライフスタイルや、まちかどで生まれる新しいアート、デジタルによる新たなカルチャーなど、多様な取り組み等も積極的に受け入れられるよう、文化芸術を広く捉えます。



(4) 対象

町田市民を基本とし、町田市に関わる方や訪れる方も対象とします。

➡年齢、国籍の違いや、障がいや病気の有無、また文化芸術のスキルレベル等に関わらず、全ての方が対象です。

(5) 区域

“市民やまちづくりに関わる方々が文化芸術を楽しみ、町田市への愛着やまちのにぎわいにつなげていく”計画の主旨を踏まえて、市域全体を文化芸術の舞台とします。

また、「町田市中心市街地まちづくり計画」において、文化芸術は町田駅周辺を中心市街地の賑わい創出に向けて欠かせないものと位置付けています。このことから、文化芸術活動や施設が集積し、多様に展開されている町田駅周辺地域を「文化芸術にぎわい創出エリア」として定め、本エリアを基軸として市民の文化芸術の鑑賞や活動の展開、市外からの来訪促進を図ります。

(6) 市の役割

市は、本計画で定める“目指す姿”の実現に向けて、計画的に文化芸術のまちづくりを進めるためのプロジェクトや各取り組みを実施します。また、市内で行われる文化芸術活動において、(7)に掲げる関係主体のほか、町内会・自治会や福祉団体、まちづくり関連団体等と横断的な連携を図り、文化芸術活動を支えていくとともに、協力して町田市の文化芸術を発展させていきます。

また、文化芸術に関する情報を一元的に発信し、文化芸術の魅力を市内外に広く伝えていきます。

(7) 文化芸術に関わる各関係主体と期待すること

市内の関係主体が、それぞれの分野を越え、積極的に連携していくことで、文化芸術によるまちづくりの“目指す姿”を実現できるようになることを期待しています。

関係主体	期待すること
文化芸術団体	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術活動の積極的な展開・既存の取組の拡充 ●市事業への協力、文化芸術に関わる各種団体との連携・協働 など
経済関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術事業と中心市街地の再開発事業との連携によるにぎわいづくり ●市の集客力アップのための連携・協働（商店会、商業施設などとの調整含む） など
観光関係団体	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術事業と観光事業との連携によるにぎわいづくり・イメージづくり など
小・中学校	<ul style="list-style-type: none"> ●児童・生徒への文化芸術体験機会や情報の提供、文化系部活動の地域連携、アーティストや指導者の活動機会の提供 など
教育機関（高等学校・大学等）	<ul style="list-style-type: none"> ●学生への文化芸術情報の提供、保有する文化芸術の専門性の提供・連携 ●各地域に根差した文化芸術機会の提供、創出 など
文化芸術外郭団体	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術活動の展開と市内外への普及 ●市事業実施への協力 ●文化芸術に関わる各種団体との連携・協働の促進 ●アーティストや指導者の紹介 など
事業者（企業）	<ul style="list-style-type: none"> ●文化芸術活動への協力・連携によるまちづくりの後押し ●まちの賑わい創出による持続可能なまちづくりの推進

目指す姿

文化芸術を**育**み 笑顔咲くまち ～町田で Let's st**A**RT～

* 目指す姿に込めた想い *

<文化芸術を育み>

「育む」の言葉には、文化芸術活動のはじめの一步を踏み出すことや新たに挑戦することで技術的に上達していく、感性を豊かにしていくという意味を含んでいます。また、それらに加えて文化芸術に親しむきっかけとなる鑑賞の機会や活動をはじめやすい環境を整える意味のほか、これまで形作ってきた文化芸術を未来に継承していってほしいといった想いも含んでいます。

<笑顔咲くまち>

「素晴らしい作品に出会ったとき」、「できなかったことができるようになったとき」、「作品制作や練習の成果が形になるとき」、私たちは、活力や充実感、達成感を得ます。そして、その先には、一人ひとりの素敵な“笑顔”が花開き、広がっていきます。

本計画を着実に進めていくことで、10年後の町田市では、市内各地で色彩豊かな“笑顔”が咲き、賑わい続けるまちをつくっていくという想いを込めています。

副題：～町田で Let's stART～

文化芸術の鑑賞や活動にあたり、思い立ったタイミングが絶好のはじめ時です。文化芸術を鑑賞したい人、活動したい人など、誰もが町田で文化芸術に触れ、スタートを踏み出せるよう、そして、文化芸術の土壌を育ていけるよう、目指す姿の副題を～町田で Let's stART～と定めます。

◆言葉の要素◆

機会や場をつくって
文化芸術を、
育む/未来につなぐ

★目指す姿のキーワード★
(市の特色や現状等から)

本書 P 6・14～参照

- **はじめの一歩**：文化芸術活動を始めやすい環境・親しめる環境
- **子ども**：子どもへの文化芸術体験
- **チャレンジ**：市民が主体的に活動できる土壌
- **つながる**：未来への継承
- **体験**：体験等を重視する社会

★目指す姿が実現しているまちのようす★

文化芸術のまちづくりによる
まちのイメージ
A3見開きでイラスト展開
→計画概要版への誘導を兼ねる

文化芸術のまちづくりによる

まちのイメージ

A 3 見開きでイラスト展開

➡計画概要版への誘導を兼ねる

4 町田市の特色と取り組み

町田市の立地やまちづくりの動き、特徴的な施設などの優位性と、市のこれまでの文化芸術の取り組み経過を踏まえたうえで計画を策定するとともに、これからの文化芸術のまちづくりに活かしていくため、主な特色と近年の取り組みを示しています。

(1) 町田市の特色

●文化芸術に親しめる環境が揃っています

駅周辺には都会的な賑わいがありながらも、北部には豊かな自然環境が広がっており、都市と緑のバランスがちょうどいいまちです。加えて、市域の外縁にはJR横浜線や小田急小田原線、東急田園都市線、京王相模原線の4路線が通り、首都圏の文化芸術の集積地である東京都心や横浜には、いずれも約30分程度で結ばれ、交通利便性の高い立地にあります。また、市内や近郊には、芸術系の大学や学部、専門学校が多くあり、文化芸術に親しめる環境が揃っています。



町田市HP
シティプロモーション
“まちだってこんなまち”

●一人ひとりが輝けるまちづくりを進めています

2022年にスタートした「まちだ未来づくりビジョン2040」では、誰もが夢を持ち、幸せを感じられるような未来をつくるため、ライフステージに応じて活躍できるまちづくりを進めています。また、「町田市性の多様性の尊重に関する条例（2023年）」や「町田市障がい者差別をなくし誰もがともに生きる社会づくり条例（2024年）」を施行しており、一人ひとりが輝けるまちの実現を目指しています。



町田市HP
“まちだ未来づくりビジョン
2040”



町田市HP
“性の多様性の尊重
に関する条例”



町田市HP
“障がい者差別をなくし
誰もがともに生きる
社会づくり条例”

●子どもにやさしいまちづくりを進めています

ユニセフが主唱する「子どもにやさしいまちづくり事業」の実践自治体（全国6市のうちの1市）として承認を受けています。近年は、これまでの“子どもにやさしいまちづくり”が実を結び、0～14歳の年少人口の転入超過数が全国トップを維持し続けており、多くの子育て家庭に選ばれています。2024年度には「子どもにやさしいまち条例」を施行し、子どもの参画等も積極的に取り入れて、子どもにやさしいまちづくりが一層推し進んでいます。



町田市HP
“子どもにやさしいまち条例”

●特徴的な文化芸術関連施設があります

町田駅近くの町田市民文学館ことばらんどでは、J-POP やマンガ、タイポグラフィー等、近代文学の範囲を超えた挑戦的な企画を多数実施しており、高い評価を得ています。また、芹ヶ谷公園“芸術の杜”には国内唯一、世界でも珍しい版画をテーマとした町田市立国際版画美術館があります。歌川広重の浮世絵等の国内外の著名作品を含む版画のコレクションが3万点以上収蔵されており、「開かれた美術館」として、市民がいつでも自由に利用でき、鑑賞や創作・発表などの活動ができます。



町田市 H P
“町田市民文学館”



“国際版画美術館”

●町田駅周辺エリアのリニューアルの機運が高まっています

1970年代から80年代の大規模再開発から約50年が経過し、町田駅周辺は街のリニューアルの時期を迎えており、再整備・再開発の検討が進んでいます。

「町田市都市集客機能整備方針（2024年3月策定）」では、都市の集客機能を高めるため、ポップス系コンサートの貸館需要が見込める2,000人前後の音楽・演劇ホールを整備する方向性を示しています。また、「町田駅周辺開発推進計画（2024年6月策定）」に基づいて、駅周辺の新たな賑わいづくりの核となる機能のイメージとして、目的地となるような魅力的なコンテンツを提供するエンタメ施設の導入する検討を進めています。



町田市 H P
“町田市都市集客機能
整備方針”



町田市 H P
“町田駅周辺開発推進計画”

●公共施設を複合化・多機能化することで市民生活の質を高めようとしています

市内の多くの公共施設が整備から40年以上経過し、更新の時期を迎えています。多額の維持管理費の確保が課題となる中、将来にわたって必要な公共サービスを維持・向上させていくとともに、市民生活の質を高めるため、施設の複合化や多機能化、民間との連携強化、建物の長寿命化などを通じて、施設の総量を削減し、維持管理費を削減することやサービス水準を向上していく取り組みを進めています。



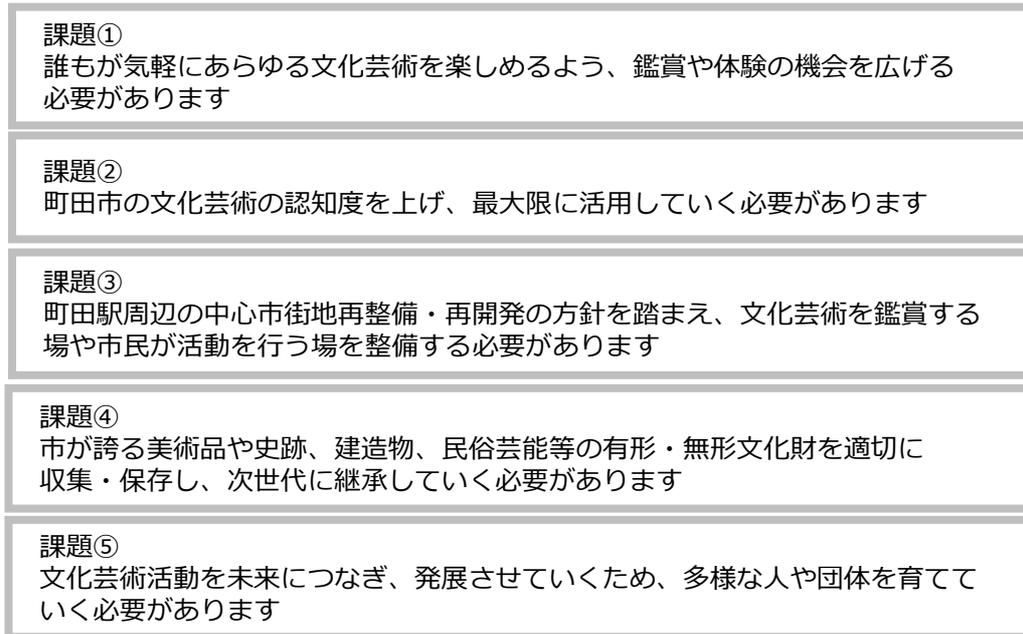
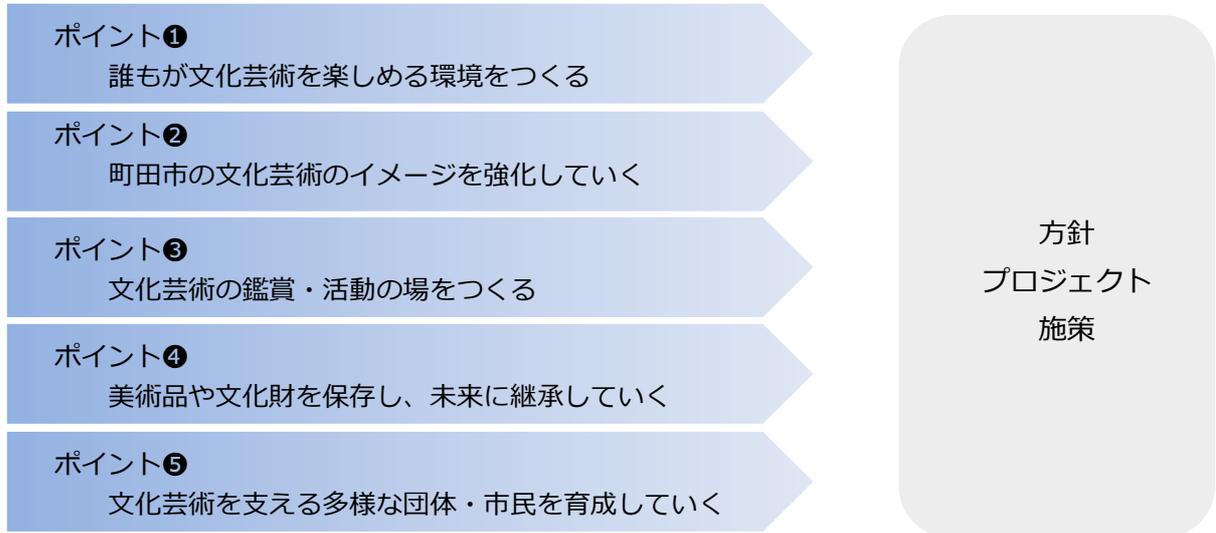
町田市 H P
“公共施設マネジメント
に関する取り組み”

(2) 近年の文化芸術の取り組み



5 文化芸術のまちづくりに向けたポイント

現状把握や各種調査・ヒアリング等から課題を洗い出し、文化芸術のまちづくりに向けた“方針”や“施策”等を明らかにするための「ポイント①～⑤」を整理しました。



ポイント① 誰もが文化芸術を楽しめる環境をつくる

◆課題解決のキーワード：鑑賞・体験の機会の充実

○ 課題

誰もが気軽にあらゆる文化芸術を楽しめるよう、鑑賞や体験の機会を広げる必要があります

○ 現状、意識調査・アンケート、みなさんの思い

小規模のホールが充実している

町田市民ホール（862席）をはじめ、和光大学ポプリホール鶴川（300席）、市民センターにある多目的ホールなどの公共施設のほか、桜美林芸術文化ホールなど、小規模のホールが市内に多くあります。

全国レベルの演技や演奏が身近にある

市内の学校には、全国コンクールの上位に入賞する吹奏楽部や合唱部があり、文化系の部活動が活発に行われています。また、市内のホールでは、まちだ全国バレエコンクールや全国町田ピアノコンクールなど、全国レベルの演技や演奏を体感できる機会があります。

文化芸術を鑑賞する人の割合が低い
（市民意識調査）

市民がホールや劇場、美術館、博物館等で文化芸術を鑑賞する割合は66.6%であり、全国（67.3%）をやや下回っています。
また、介護・介助が必要な方や障がいのある方々の文化芸術の鑑賞割合は（介護等29.2%、障がい47.1%）、そうでない方（69.9%）に比べて低い結果となっています。

子どもへの文化芸術体験が重要視されている
（市民意識調査）

市民が重要だと思う中学生以下の子どもの文化芸術体験として、「興味を持つきっかけとなる多様な機会の提供」や「学校での鑑賞や体験」などが重要と回答しています。

文化芸術活動団体への新規加入者が少ない
（団体アンケート調査）

団体活動における課題として、60.2%の団体が新規加入者が少ないことを挙げています。また、58.3%の団体が会員数の増加を重視しています。

若者の教育に生の文化芸術の鑑賞と体験があるといい

もっと活動を発表できるような機会がほしい

大規模ホールがあれば、有名アーティストの公演を町田で鑑賞する機会が増え、うれしい

演劇表現活動に触れる機会をもっと増やせば、文化芸術の町田になる

障がい者の文化芸術に関する展示会があると作家のモチベーション向上や発掘にもつながる

ポイント② 町田市の文化芸術のイメージを強化していく

◆課題解決のキーワード：市内の活動の認知度向上

○ 課題

町田市の文化芸術の認知度を上げ、
最大限に活用していく必要があります。

○ 現状、意識調査・アンケート、みなさんの想い

日本有数の美術品を保有
している

町田市立国際版画美術館では、歌川広重の浮世絵等の国内外の著名作品を含む版画のコレクションが3万点以上、町田市立博物館にはボヘミアン・グラス等のガラス工芸や中国・東南アジアなどの陶磁器等のコレクションが1万点以上収蔵されています。

民間の文化芸術活動が
盛んで、多様に展開され
ている

茶道、華道、伝統芸能、美術、ジャズ、民族音楽等多彩な市民文化芸術団体が町田市民ホールや市民センターを利用して活発に活動しています。クラシック、音楽、オペラ、バレエ等の分野では、プロとアマチュアの双方が連携する長い活動の歴史があります。
また、全国的に活動を広げる「音楽座ミュージカル」の拠点があり、町田駅前の「まほろ座」では、落語やご当地アイドルのプロデュースを実施するなど、文化芸術活動が展開されています。

文化芸術活動や資源の
魅力がうまく伝わって
いない（市民意識調査）

文化芸術のイメージについて「特にない」、「無回答」が多くなっています。

文化芸術分野において
デジタル技術を使った
魅力発信が欠かせない
（市民意識調査）

ホールや美術館で直接鑑賞しなかった理由として「インターネットで鑑賞したから」が多くなっています。

他の分野や地域・学校と
の連携した活動が少ない
（団体アンケート調査）

他の分野の団体と連携した活動に取り組んでいる団体は24.1%にとどまっています。また、地域や学校と連携した活動に取り組んでいる団体も35.2%と、連携した活動が少なくなっています。

版画美術館や文学館、生涯学習
センターは他市より優れている

色んな団体が出られるお祭り、
イベントをもっと企画したい

「演劇の日」「朗読の日」「映画
の日」など設けて、多くの作品
に触れる機会をつくってほしい

沢山のチームや団体に盛り上げ
るようなイベントを企画してほ
しい

子どもが体験できるようなイベ
ントがあるといい

文化芸術面の“町田らしさ”をも
っと広報してほしい

ポイント③ 文化芸術の鑑賞・活動の場をつくる

◆課題解決のキーワード：鑑賞・活動する場の充実

○ 課題

町田駅周辺の中心市街地再整備・再開発の方針を踏まえ、文化芸術を鑑賞する場や市民が活動を行う場を整備する必要があります。

○ 現状、意識調査・アンケート、みなさんの思い

子どもや若者が文化芸術活動を始めやすい環境が揃っている

市内 12 か所にある子どもセンターや子どもクラブには、一部に音楽室や防音室を備えており、子どもや若者が文化芸術活動を始めやすい環境があります。

文化芸術活動の発表や練習の場の中心を担う市民ホールの老朽化

市内で活動する文化芸術団体にとって発表や創作、練習等で利用してきた町田市民ホールはオープンからまもなく 50 年を迎えます。過去に検討を進めてきた文化芸術ホールや、町田駅周辺への導入を検討している音楽・演劇ホール等を踏まえ、今後のあり方について検討する時期にあります。

ポップ・カルチャーの郊外拠点となっている

市内には、8 校の大学、9 校の専門学校があり、交通の利便性も高いことから、学生を中心に多くの若者が町田を拠点に活動しています。また、市内にはライブハウスも多くあり、ポップ・ミュージックの活動が盛んです。加えて、ストリート系のダンスをする若者も多く、ポップ・カルチャーの拠点となっています。

市民の文化芸術活動が活発に行われている
(市民意識調査)

文化芸術に関わる活動（創作や出演、習い事、体験活動への参加など）をした市民の割合は 29.5%と、全国 21.7%と比較しても高い傾向にあります。

町田エリアで音楽・演劇活動が活発に行われている
(団体アンケート調査)

75%の団体が町田エリア（町田・玉川学園地区）で活動を行い、音楽（オーケストラ、吹奏楽、合唱、ポップス等）や演劇・舞踊（15.7%）の活動が多くなっています。

設備の充実した本格的なホールを設立してもらいたい

練習する場や制作する場がほしい

文化芸術のシンボルとなり、子どもも大人も憧れるような多目的ホールがほしい

町田駅前に高齢者でも楽に駅から歩けるホールがあるといい

練習の成果を発表する場や機会がもっとあるといい

ダンスや音楽フェスなど、発表の場がたくさんあれば、町田での活動が広がると思う

ポイント④ 美術品や文化財を保存し、未来に継承していく

◆ 課題解決のキーワード：資源の保存・継承

○ 課題

市が誇る美術品や史跡、建造物、民俗芸能等の有形・無形文化財を適切に収集・保存し、次世代に継承していく必要があります。

○ 現状、みなさんの思い

他市を圧倒する量・質の美術品コレクションを収蔵している

国際版画美術館や博物館には、数万点もの美術品コレクションを収蔵しています。

貴重な有形文化財や遺跡が数多く残っている

国の指定史跡や重要文化財、都の指定文化財など、市内には貴重な文化財や遺跡が数多く残っています。特に、遺跡は縄文時代を中心に市内に900か所発掘されており、町田の歴史を示す極めて貴重な資産です。

無形民俗文化財の担い手が不足している

市内で伝承されてきた獅子舞やお囃子などの無形民俗文化財の担い手の確保が難しくなっています。

伝統芸能を継承していくためには小学生や中学生など、若い人への教育が必要

実際に見てみたい。めずらしい感じがする。学校では習っていないので興味がある。

TVで見るより、行ってみたい。知らないものをやってみたい。

ポイント⑤ 文化芸術を支える多様な団体・市民を育成していく

◆課題解決のキーワード：多様な担い手による活動の推進

○ 課題

文化芸術活動を未来につなぎ、発展させていくため、多様な人や団体を育てていく必要があります

○ 現状、みなさんの想い

市民が主体的に活動できる土壌が整っている

まちだ〇ごと大作戦 18-20⁺¹や、二十祭まちだ、まちだ若者大作戦など大人や子ども・若者が自分たちのやりたいことを、自ら叶える取り組みを通じて、市民が主体的に活動できる土壌が整っています。

文化芸術団体の会員の高齢化に加え、会員数が減少している

茶道や華道、書道等の伝統文化を始めとする文化団体、クラシック音楽やオペラ、バレエ団体などが数多くある一方、会員の高齢化や、新規会員の獲得が難しいなど、会員数が減少しています。

アーティストの卵が多く住んでいる

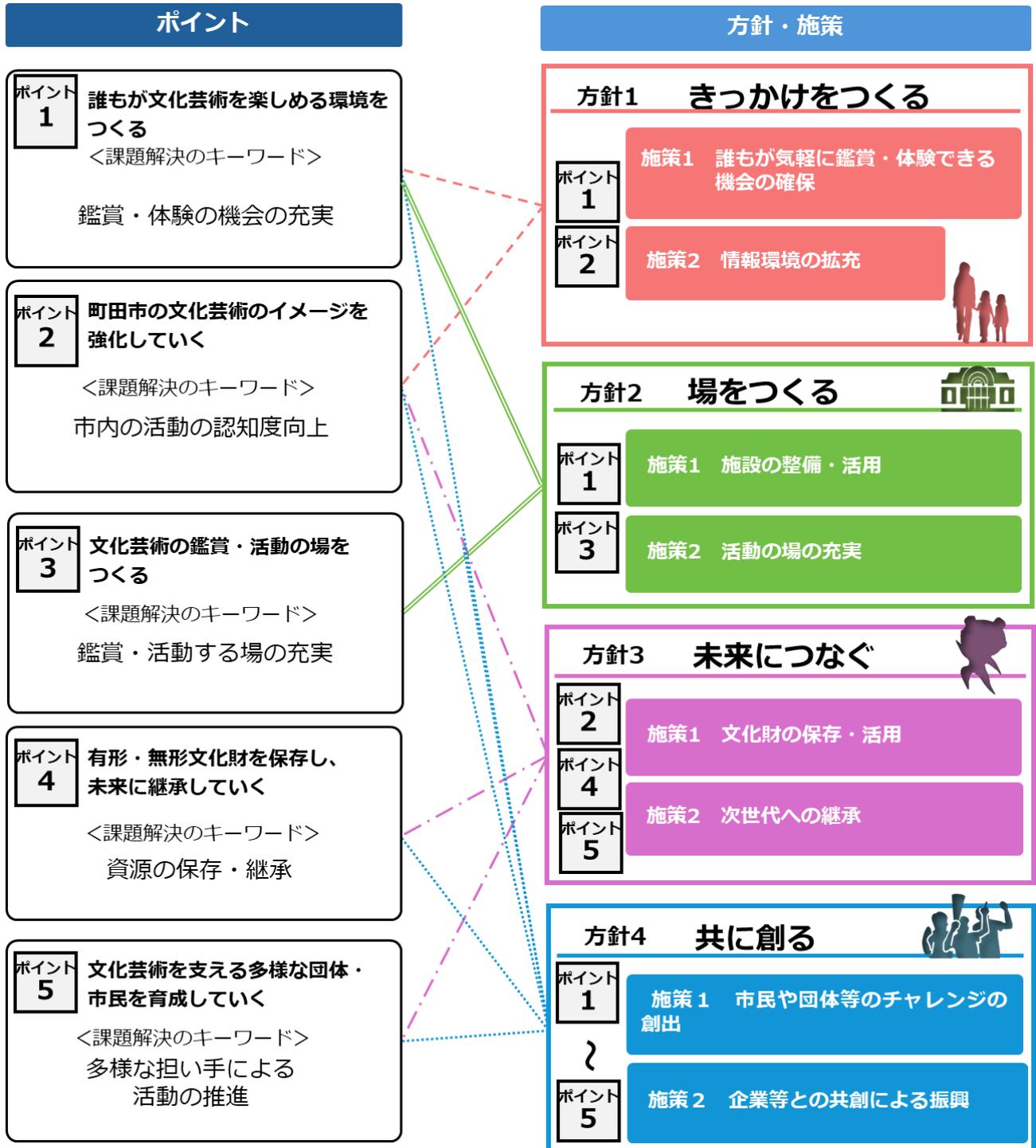
市内や周辺には、芸術系の大学や学部が多くあり、アーティストの居住割合が高いものの、「町田にとどまっていたは活動を広げにくい」という声があります。

市民や市民団体の力を借りられるよう、市と市民が協働できる仕組みをつくってほしい

高齢者や障がい者など、多様性を尊重するような風土をつくって活動が活発になるといい

6 方針と施策

現状や課題、みなさんの想いから導いたポイントや課題解決のキーワードから、文化芸術のまちづくりにあたっての4つの「方針」と「施策」を示します。



7 計画体系

方針1～3と方針4を両輪とし、相互作用することで目指す姿を実現します。

目指す姿

文化芸術を育み 笑顔咲くまち ～町田で Let's stART～



8 文化芸術プロジェクト

～まちだ Smile-ring project (スマイリングプロジェクト) ～

「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田で Let's stART～」の実現に向けて、文化芸術活動によって生まれた笑顔の輪を広げ、未来につなげていくため、前期の事業計画期間となる 2031 年度までを、“文化芸術を通じて人と人をつなぎ、町田の文化芸術を育む 6 か年”と位置付けます。

そして、基本方針を横断したプロジェクト総称を「まちだ Smile-ring project (スマイリングプロジェクト)」と定めて、A～Cの3つのプロジェクトを実行し、文化芸術のスタートを踏み出せるよう、きっかけをつくっていきます。また、実行にあたっては、リアルな体験はもちろん、デジタルの要素も活用し、融合させながら展開していきます。



Project A

文化芸術で“みんなの夢”を叶える

Project B

文化芸術大型イベントの実現

Project C

「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化

Project A

文化芸術で“みんなの夢”を叶える

まちだ〇ごと大作戦 18-20⁺¹やまちだ若者大作戦など、市民主体のまちづくりの経験を存分に活かし、来たる市制 70 周年の節目を、文化芸術でまちが一つになる好機と捉えて、「(仮称)文化芸術版〇ごと大作戦」の実現を目指します。異分野の多様な主体がコラボし、文化芸術を通じたまちづくりを前提として、みなさんの夢（やりたいこと）を叶える仕組みを整え、実行します。



Project B

文化芸術大型イベントの実現

地域や民間事業者等とコラボし、町田市を象徴するような大型イベントを実施します。まちの一体感を育み、イベントに関わる人、参加する人たちと喜びや感動を共有するとともに、憧れや関心を集め、新たなチャレンジ、スタートを踏み出せるような、きっかけをつくります。



Project C

「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化

町田駅周辺の再整備・再開発を見据え、町田市の文化芸術機能（施設や活動）の集積地である「文化芸術賑わい創出エリア」を、一段と活性化させていきます。

再整備・再開発エリアにおける音楽・演劇ホールへの導入や映画館の誘致に向けて、公共空間における音楽活動や文化芸術活動の実施など、文化芸術の活動の場や鑑賞する場を整えることで、更なるまちの賑わいにつなげていきます。



イラスト挿入

9 施策と取り組み

目指す姿「文化芸術を育み、笑顔咲くまち～町田で Let's stART～」の実現に向けて、現状や課題、みんなの思い等を踏まえて、これからの文化芸術のまちづくりに欠かせない新たな取り組み「& stART（アンドスタート）」を掲げ、文化芸術施策を加速化させていきます。

また、市が主体となって実施している事業のうち、横断的な組織連携や関係団体とのコラボレーション、民間活力の導入等によって、バージョンアップが見込める事業を、施策ごとに位置付けて、拡充を検討していきます。

(1) 施策推進のための新たな取り組み

新たな取り組み
& stART

「& stART（アンドスタート）」とは

2026年度～2031年度までの前期事業計画6年間に新たに実施することを目標とする取り組みです。

「& stART」の設定にあたっては、目指す姿のキーワード（本書P11）を基にした、以下の“大切にしたい5つのこと”を踏まえます。



なお、次頁からの“& stART”の掲載においては、「まちだ Smile-ring project（スマイリングプロジェクト）」のプロジェクトA～Cについても、最も関連のある施策に再掲載しています。

(2) 既存事業のバージョンアップの検討

計画を進捗管理し、実行の旗振り役となる文化振興課が「アートサポーター」となって、庁内の各部門間の調整や、民間団体・事業者と橋渡しを行い、事業の規模や対象者の拡大、事業内容の充実などによって、文化芸術の観点から既存事業の拡充を図ります。

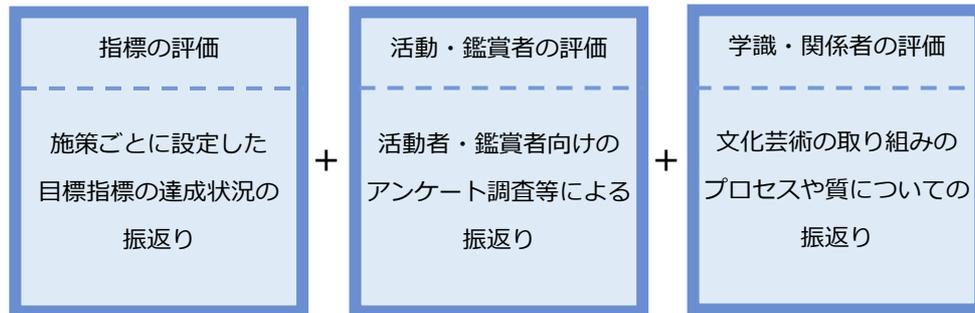
イラスト挿入

(既存事業が他事業、民間団体や事業者とのコラボによってバージョンアップするようす)

(3) 施策・取り組みの評価

施策・取り組みの評価にあたっては、以下の3つの観点を踏まえて、前年度の振り返りを行ったうえで、当該年度及び次年度の取り組みに反映し、着実に文化芸術のまちづくりを推進します。

【3つの観点からの総合評価による施策の推進】



(3) 施策・取り組み（事業）一覧

～まちだ Smile-ring project (スマイリングプロジェクト)～

Project A 文化芸術で“みんなの夢”を叶える

Project B 文化芸術大型イベントの実現

Project C 「文化芸術にぎわい創出エリア」の活性化

方針1 きっかけをつくる

施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保

新たな取り組み" & stART"	バージョンアップ検討事業	
●文化芸術イベントを開催します 【Project B】	○Future Park Lab (フューチャーパークラボ) ○地産地SHOW ○版画工房・アトリエの一般開放	P31～

施策2 情報環境の拡充

新たな取り組み" & stART"	バージョンアップ検討事業	
●文化芸術情報を一元化し、魅力を発信します	○文化芸術プロモーション・ 文化芸術に関するメディアプロモート ○美術品や文化財、歴史資料のデジタル公開	P33～

方針2 場をつくる

施策1 施設の整備・活用

新たな取り組み" & stART"	バージョンアップ検討事業	
●文化芸術ホール整備のための検討を進めます【Project C】 ●文化芸術活動のための練習の場・制作の場を増やします	○芹ヶ谷公園“芸術の杜”「美術エリア」の整備	P35～

施策2 活動の場の充実

新たな取り組み" & stART"	バージョンアップ検討事業	
●道路空間やみどり空間にアートを取り入れます	○みんな笑顔の展覧会 ○活動の成果、演芸・作品発表会 ○小・中学校連合音楽会、連合演劇発表会	P37～

方針3 未来につなぐ

施策1 文化財の保存・活用

新たな取り組み" & stART"	バージョンアップ検討事業	
●出前授業で文化財の魅力を伝えます	○美術・工芸コレクション常設展示の実施 ○美術・工芸の魅力を伝える企画・特集展示の実施 ○地域の資源を活かした展示	P39～

施策2 次世代への継承

新たな取り組み" & stART"	バージョンアップ検討事業	
●文化芸術を「する」体験を増やします	○工芸制作プログラム ○子どもたちの体験学習	P40～

方針4 共に創る

施策1 市民や団体等のチャレンジの創出

新たな取り組み" & stART"	バージョンアップ検討事業	
●文化芸術で“みんなの夢”を叶えます 【Project A】	○市民センター・コミュニティセンターまつり ○文学館まつり	P42～

施策2 企業等との共創による推進

新たな取り組み" & stART"	バージョンアップ検討事業	
●大学や企業とのコラボで文化芸術支援の仕組みをつくります	○官学連携による企画の実施	P43～

方針1

きっかけをつくる

文化芸術の鑑賞や体験ができる環境を整え、身近にある暮らしを実現します。

また、誰もが文化芸術活動をスタートしやすい環境を整えるとともに、そのきっかけとなる情報発信を積極的・効果的に行います。

指標

指標	市内で文化芸術活動・鑑賞する機会を持つことができた市民の割合
----	--------------------------------



施策1 誰もが気軽に鑑賞・体験できる機会の確保



文化芸術を身近に感じるイベントを開催します

誰もが気軽に文化芸術に触れ、その魅力を体験できる機会を提供するため、年に1度、文化芸術イベントを開催します。

また、地域や民間事業者等とコラボし、町田市を象徴する大型イベントの2028年度開催を目指し、実現することで、新たなチャレンジやスタートを踏み出すためのきっかけをつくります。

(【Project B】)



実施例

大成功を収めた実証事業「文化芸術イベント推進事業」

2025年度に実証的に実施した「無料特別公演 音楽座ミュージカル「リトルプリンス」」では、普段、本格的な舞台芸術に気軽に触れることが難しい障がい者や、未就学児を連れた家族も気兼ねなく参加できるよう、離席自由、歩き回ることができる、声をあげても構わないなどの配慮を講じた公演を実施し、迫力ある生の演劇を間近で鑑賞いただくことで、多くの方に文化芸術の魅力を感じていただきました。

バージョンアップ検討事業

Future Park Lab

(フューチャーパークラボ)

芹ヶ谷公園“芸術の杜”の再整備に向けて、多様な文化芸術活動や芹ヶ谷公園の豊かな自然に触れ、学び、楽しむことができる新しい体験型の公園を目指して、市民参加型イベントを実施しています。

地産地 SHOW

町田市ゆかりのアーティストの活動支援を行うとともに、多くの方々が、気軽に文化芸術に触れられるイベントを実施しています。

版画工房・アトリエの一般開放

市民展示室や行動、アトリエの設備や機材を貸し出すことで、市民等の団体や個人の創作・発表活動を支えています。

PICKUP!

外部団体等が主体となっている取り組みの紹介

(水曜午後の音楽会)

外部団体等が主体となっている取り組みの紹介

(まちだユースシアター)

施策2 情報環境の拡充

& START

文化芸術情報を一元化し、魅力を発信します

市内の文化芸術イベントや活動団体、地元アーティストの活動等を紹介し、市内外の多くの方々に町田の魅力を知らせてもらえるよう、文化芸術に関する情報を一元化し、発信します。

イラスト挿入

* 事業例 *

「まちだの文化芸術ポータルサイト開設・運営」
市内の文化芸術に関するイベント情報や展覧会のスケジュールを随時更新し、関連団体とのリンクを掲載することで、地域全体で文化芸術を盛り上げられるようなプラットフォームをつくります。

バージョンアップ検討事業

文化芸術プロモーション・ 文化芸術に関するメディアプロモート

文化に親しむ機会の提供や、文化芸術の発展を推進するために、Instagramで文化芸術イベント等を発信しています。

また、文化芸術に関するコンテンツを、幅広い芽ティアに取り上げてもらえるようPRしています。

美術品や文化財、歴史資料の デジタル公開

国際版画美術館や博物館の作品、町田の歴史を誰もがいつでも分かりやすく学べるよう、デジタルアーカイブ化しています。

PICKUP!

外部団体等が主体となっている取り組みの紹介

(まちだアーティストバンク)

方針2

場をつくる

町田の立地や自然を活かした文化芸術の鑑賞・活動の場をつくり、基盤となる拠点を整備・活用していきます。

指標



施策1 施設の整備・活用



文化芸術ホール整備のための検討を進めます

文化芸術ホールについては、2017年3月にまとめられた「文化芸術ホール整備に向けた基本的な考え方」の中で、“シビックプライドの醸成”や“中心市街地のまちづくり”、“将来を担うひとづくり”、“文化芸術振興”を目的とした施設として、かねてから整備を目指してきました。

一方、町田駅周辺の再整備・再開発においては、森野住宅周辺地区に導入を目指す中心市街地の集客力の向上に加えて、まちのシンボル形成・都市のブランドの確立を目的とする「音楽・演劇ホール」の整備を目指しています。また、町田市民ホールの老朽化を見据え、今後のあり方についても検討の時期にあることから、公共施設再編の観点で踏まえ、森野住宅周辺地区へのホールの導入に向けた検討を進めていきます。

文化芸術活動のための練習の場・制作の場を増やします

文化芸術活動のための新たな練習の場や活動の場を増やすため、文化芸術以外の公共施設等を活用できるようにします。

バージョンアップ検討事業

芹ヶ谷公園“芸術の杜” 「美術エリア」の整備

町田らしい多様なアート・カルチャーを体現する魅力的な企画やイベントが、美術館にとどまらず、緑あふれる公園の空間やまちなかと一体となって展開されている“芸術の杜”ならではの美術館等を整備しています。

PICKUP!

コラム挿入

(芹が谷公園“芸術の杜”整備)

施策2 活動の場の充実

& START

まちなかが活動のフィールドになるよう 道路空間やみどり空間等にアートを取り入れます

トンネル等の壁や案内表示などを含めた道路空間、みどり空間等にアートを取り入れて、活動を広げるとともに、日常生活の中で自然と文化芸術に触れ、感じられるようなまちづくりを進めます。



実施例 市民との協働による壁面制作活動

桜美林大学の北側に面する通りを渡る桜美林地下道は、多くの落書きが目立ち、通りにくい地下道になっていました。この地下道を自分達の手できれいにしたいと立ち上がった桜美林大学の学生の皆さんの「桜美林トンネルアートプロジェクト」によって、桜美林地下道は海・陸のさまざまな生き物をシルエットで描き、たくさんの人が通りたくなるような素敵な空間へと生まれ変わりました。

バージョンアップ検討事業

みんな笑顔の展覧会

市内の障がい福祉施設で、生活指導の活動取り組みから、様々な工作作品を作成している事業所が多くあります。利用者が制作する作品類を集めて、市役所イベントスタジオにて展示し、障がい者福祉施設の魅力を周知、PRしています。

活動成果、 演芸・作品発表会

生涯学習センターでは、センターで活動するサークルや団体の日頃の活動成果を発表する生涯学習センターまつりを実施しています。
また、ふれあい館では、利用者による演芸や作品発表、盆踊りを実施しています。

小・中学校連合音楽会、 連合演劇発表会

市立小・中学校が合同で、合唱や吹奏楽、演劇等を市民ホールで発表を行っています。

PICKUP!

外部団体等が主体となっている取り組みの紹介

(市民文化祭)

方針3

未来につなぐ

市の貴重な資産であり、歴史を物語る文化財を保存・活用します。また、文化芸術を担う人財のもつ技術や思いを次世代につなげ、文化芸術活動が続けられてきた土壌を育てていきます。

指標

指標

美術館などの文化施設を友人・知人に薦めたいと思う市民の割合



施策1 文化財の保存・活用

& start

出前授業で文化財の魅力を伝えます

考古・歴史・民俗資料を活用した授業プログラムを設け、市内小中学校に出張授業を行います。

バージョンアップ検討事業

美術・工芸コレクション 常設展示の実施

国際版画美術館の歌川広重の東海道五拾三次などの版画作品コレクションや、博物館の東南アジアの陶磁器コレクション、ボヘミアン・グラスなどの工芸品を展示しています。

美術・工芸の魅力を伝える 企画・特集展示の実施

国際版画美術課において、講演会、ギャラリートーク、鑑賞イベント、製作を伴うイベントやコンサートなど、通年で美術や工芸の魅力を伝えています。

市域資源を活かした展示

市立自由民権資料館や考古資料室、三輪の森ビジターセンター内郷土資料展示室、本町田遺跡公園ガイダンスルームにて、土器や公文書、民具などの資源を活用した展示を実施しています。

PICKUP!

コラム挿入

施策2 次世代への継承

& START

文化芸術を「する」体験を増やします

アーティストの舞台での共演やアーティストとの共作を通し、文化芸術を「する」体験をします。

イラスト挿入

事業例

バージョンアップ検討事業

工芸制作プログラム

子どもたちが工芸美術に親しめる環境をつくるため、学校と連携して、工芸制作プログラムを実施します

子どもたちの体験学習

読み聞かせ、茶道体験、華道体験、伝統文化等の文化芸術体験や、講師から話を聞く機会を各学校で実施することで、未来につなげています。

PICKUP!

コラム挿入

方針4

共に創る

若者や市民、文化芸術団体、大学や企業等と共に、文化芸術を創作する機会をつくり、エンターテインメントの要素を取り入れたまちをつくります。

指標

指標 文化芸術に触れる環境等に満足している市民の割合



施策1 市民や団体等のチャレンジの創出

& START

文化芸術で“みんなの夢”を叶えます

まちだ〇ごと大作戦 18-20+1 やまちだ若者大作戦など、市民主体のまちづくりの経験を存分に活かし、来たる市制 70 周年の節目を、文化芸術でまちが一つになる好機と捉えて、「(仮称)文化芸術版〇ごと大作戦」の実現を目指します。異分野の多様な主体がコラボし、文化芸術を通じたまちづくりを前提として、みなさんの夢(やりたいこと)を叶える仕組みを整え、実行します。
(【Project A】)



実施例

若者たちの“やりたい”を叶える

若者が自らの力で“やりたいこと”を実現できるように市が後押しする事業「まちだ若者大作戦」では、若者主体の野外音楽イベントである MUSICA (ムジカ) を実施し、多くの若者の夢が叶っています。

バージョンアップ検討事業

市民センター・コミュニティセンターまつり

市民センター活動している団体と共に、地域団体による舞台発表や作品展示などを実施しています。

文学館まつり

地域住民と共に、文学館館内でのイベントに加え、文学館通りを歩行者天国にして飲食ブースやライブイベントなどの祭りを実施しています。

PICKUP!

外部団体等が主体となっている取り組みの紹介

(まちカフェ)

施策2 企業等との共創による推進

& START

大学や企業とコラボして、文化芸術のまちづくりを
推進します

大学や企業とコラボし、文化芸術支援の仕組みをつくることや、文化芸術の体験や機会を一層提供
していくことで、文化芸術の輪を広げていきます

イラスト挿入

事業例

バージョンアップ検討事業

官学連携による企画の実施

学校法人玉川学園と連携し、社会問題化している放置竹林の再生と活用をテーマとしたイルミネーション演出企画。実施に当たっては小野路地域にある竹林で玉川学園と協働で伐採した竹を、材料の一部として使用しています。

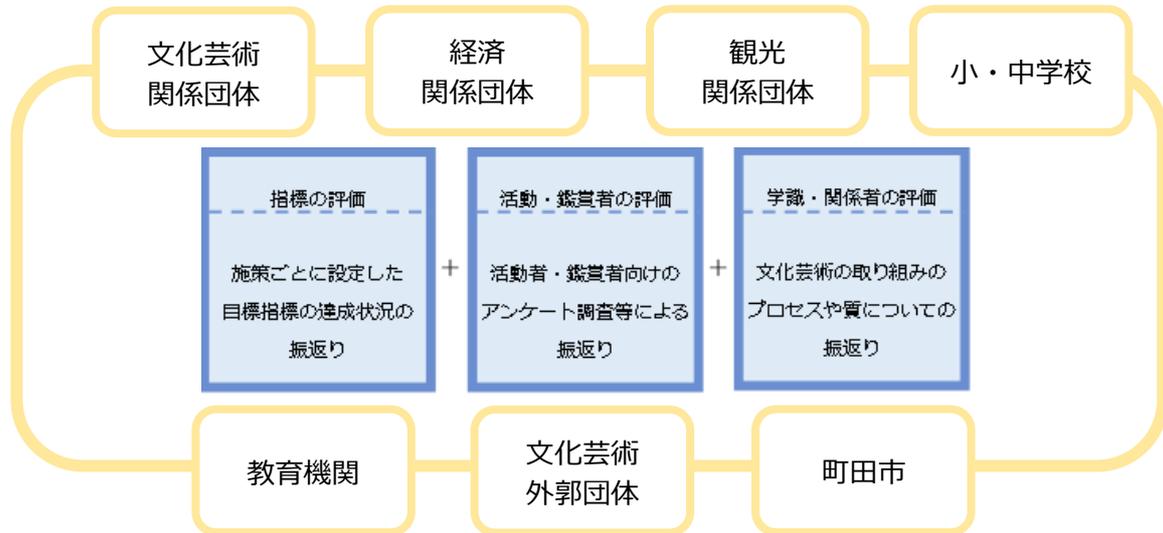
PICKUP!

コラム挿入

10 計画の推進にあたって

(1) 町田市文化芸術のまちづくり推進委員会

各関係主体の代表で構成する「町田市文化芸術のまちづくり推進委員会」を立ち上げ、毎年1度、前年度の振り返りを行うとともに、翌年度の取り組みに反映し、着実に施策を推進します。



(2) 庁内の推進体制

観光や福祉、教育その他の各関連分野が、それぞれの知識やネットワークを活かしながら、横断的に連携して計画を進めることができるよう、情報共有の場を設けます。

また、計画を進捗管理し、実行の旗振り役となる文化振興課がプロジェクトマネージャーとなって、各部門の意見を調整し、“まちだ Smile-ring project”や、新たな取り組み“& start”の実現を図っていきます。